

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	通いサービスを中心に利用者の希望や状況に応じて訪問サービスや宿泊サービスを 組み合わせて提供します。 日中、訪問、夜間とそれぞれ違う場面でも顔なじみのスタッフによる連続性のあるケ アで、自宅での継続した生活を支援致します。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 心	管理者	尾曲 秀樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	0人	1人	1人	4人	0人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	来年度も、今回の様に目に見えた形で実施し全職員が参加できるようにする。	取組みとして、前回同様のやり方で、実施出来たのは良かったと考える。	前回同様の目に見えた形で行えたことは良かったと思う。	継続して実施して貰えたら良い。
B. 事業所のしつらえ・環境	継続して公民館の鍵を保管する事で、新規の住民の方にも認知してもらえるので、継続する。	公民館の鍵を保管している事で、新規の住民の方にも事業所を認知して頂けている。	地域の方が、公民館の鍵を借りに事業所に入る事は望ましい事である。	今後も鍵を保管し認知して頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が相談しやすい雰囲気や環境を整える。	地域の方より相談は今年度、数件あった。	何か困りごとや相談ごとがあった場合、本部に先相談されるので、その後事業所伝わってくる。直での相談は今のところ無い。	広報を通じて、何か困りごとがあれば、相談をしてもらえるような環境である事を啓蒙していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	地域で開催されている「いきいき百歳体操」に積極的に参加する。	日程は聞いているが、参加出来ない。	地域の老人会等への参加は声をかけてもらい参加させて頂いている。	地域の催しへの参加の声を掛けて頂いた際は、日程を調整して参加させて頂く。また、職員の顔を覚えてもらう。
E. 運営推進会議を活かした取組み	必要に応じて会議内で事例検討を実施していく。	特に事例検討は行われなかった。	地域の心配な方等の事例検討までは出来ていない。	必要に応じて会議内で事例検討を実施していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画を作成する。また、地域の自主防災に参加する。	防災計画は、作成出来ている。	防災計画はあるのか。また、いつ防災訓練をしているのかが分からない。	防災計画は作成出来ているので、周知する。